



桜井地域（地域拠点＋産業拠点）

本地域は、名鉄桜井駅を中心とした市街地に人口が密度よく集積し、比較的充実した都市機能立地となっています。今後も本市南部を支える地域拠点として、名鉄桜井駅周辺を中心に人口を集積させていくべき地域となります。

また、地域に立地する都市機能の特徴として、比較的都市サービスレベルの高い福祉機能（地域包括支援センター等）、商業機能（大規模商業施設）、教育機能（高校）が立地しています。

20年、30年後を見据え、本地域で維持されるであろう子育て世代や増加する高齢世代の暮らしやすさが確保されるよう、名鉄桜井駅周辺を中心に地域に必要な都市機能の立地誘導を図る必要があります。

（１）20年、30年後を見据えた、居住・都市機能の立地方針

地域のマチナカ居住の立地（誘導）方針

- ・南部地域の人口集積地となる名鉄桜井駅周辺を中心に、高密度に居住が集積するエリアは、今後も高い人口密度が維持されるよう誘導します。より都市機能が多く立地する名鉄桜井駅周辺のマチナカ拠点区域において、集積が強化（＝高密度化）されるよう誘導します。

地域のマチナカ都市機能の立地（誘導）方針

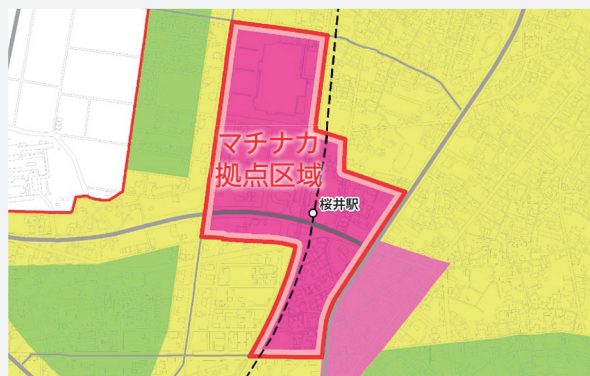
- ・今後も居住が集積する地域に都市機能が維持・確保されるよう誘導します。
- ・より高密度に居住集積が想定される名鉄桜井駅周辺のマチナカ拠点区域において、コンパクトに集積（＝高密度化、複合化）されるよう誘導します。

維持・確保すべきマチナカ都市機能とマチナカ拠点に誘導すべき施設の方針

- ・各土地利用構想に必要な機能が維持・確保されるよう誘導します。
- ・今後より高密度に居住集積が想定される名鉄桜井駅周辺のマチナカ拠点区域において、居住機能を有し、地域の課題解決として必要な都市機能及び地域ニーズ機能を2以上有する複合施設が立地するよう誘導します。

地域の課題解決として複合的に誘導すべき都市機能

- ①医療機能（診療所等）…地域の今後を支える子育て世代を中心に暮らしやすさを確保するために必要。



（２）これから10年の視点にたった、地域の基本目標

- 都市構造** 南部地域拠点「桜井駅」周辺を中心とした、日々の生活を支え他地域とつながる、都市機能がコンパクトに使える集約型地域づくり
- 都市運営** 居住・都市機能が多く集積する桜井駅周辺を中心とした、地域住民とともに育む持続可能な地域づくり
- 都市活力** 商業業務機能が集積する桜井駅周辺や本市を支える工業地を中心とした、活力と活気で賑わいあふれる地域づくり
- 都市生活** 桜井駅周辺における市街地や集落での自分らしい暮らしを共有できる、安全・安心に暮らせる地域づくり
- 都市環境** コンパクトな市街地を取り巻くように広がる農地等が保全され心地よく生活できる、人と自然が共生する地域づくり

第8次安城市総合計画より #【土地利用】土地区画整理事業により、商業系・住居系の都市機能の集積を図り、南部地域の生活圏の中心となる拠点形成の推進する桜井駅地秩序な開発を抑制、農業先進都市としての歴史風景を引き継ぎ、農業経営基盤を強化、集約化を推進する優良農地の保全 #【土地利用、市街地】名鉄桜井駅周辺地域において、史跡の本證寺等の歴史資源の活用し、新たな観光資源の創出 #【景観】桜井古墳群の保存・活用方法の検討

(3) これから10年の視点にたった、地域の基本目標を達成するための方針

土地利用の形成など、地域における「都市の骨格をつくる方針」

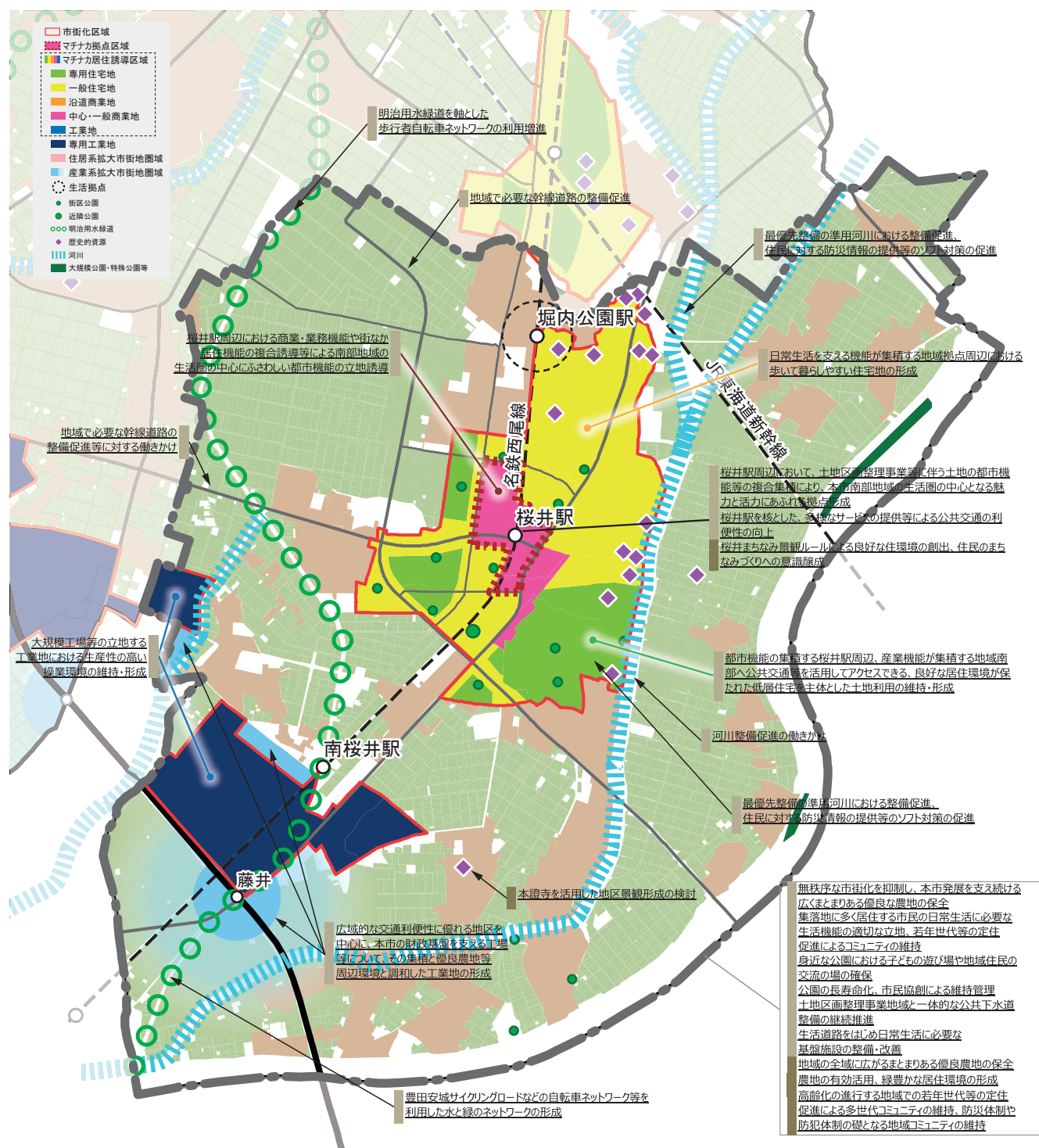
本市南部の地域拠点として地域を支える都市機能の集積を目指す名鉄桜井駅周辺を中心とした、バランスのとれた居住・都市機能誘導を実現する土地利用の展開とともに、本市を支える工業地への移動等に対する利便性や地域の豊かな生活環境を創出する都市基盤の形成を図ります。

景観の醸成など、地域における「快適な暮らしを支える方針」

地域に根付く本證寺、桜井古墳群や豊かに広がる優良農地などの歴史文化資産の保全・活用や自立的なまちづくりに対する意識醸成を図るとともに、もしもの時も多世代が協力しあえる地域コミュニティの意識醸成を促進します。

土地利用、交通体系(公共交通、道路)、都市施設(公園・緑地、下水道・河川)、市街地

景観、自然環境・都市環境、安全・安心なまちづくり



域拠点の形成#基盤整備の推進による名古屋との連携強化#中心市街地拠点施設や保険センター、広域的な公園の核を自転車ネットワークなどで結んだ健康交流軸の形成#無歴史文化の感じられる、うるおいのある住みやすい住環境の整備推進による魅力あるまちづくり#【市街地】安城桜井駅周辺地区土地区画整理事業の推進#【景観】国指定